

# えすぽあ

espoir (エスポール)=フランス語で「希望」

No.54  
2022.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち 津山」の実現をめざして…

えすぽあ  
インタビュー

塚本さつきさん

(「支え合い育ち合い  
根っとうわくあんあん」  
事務局長)



津山を拠点として活動されている「支え合い育ち合い根っとうわくあんあん」の塚本さつきさんにお話を伺いました。

自己紹介をお願いします。

退職するまでは、幼稚園に四十二年間勤務していました。その間沢山の子ども達・家族・地域の方に出会ってきました。趣味は野菜作りです。子ども達と訪れた自然や温かな人との関わりがきっかけです。退職して三年になりますが、その時感じた憧れをもとに仲間と「支え合い育ち合い根っとうわくあんあん」を立ち上げました。

「あんあん」とはどのような団体ですか

通称「あんあん」は安心・安全から頂いた言葉です。子ども達の明るい未来を願い、人と人とがつながり、ともに育ち合える子育ての環境作りを目指しています。令和二年二月に六人のスタッフと立ち上げ、現在はボランティア六人が加わり十二人で活動しています。年齢層は幅が広く、最近加入された二十代の若い方も子ども達のパワーに

圧倒されながらも元気に頑張っています。

活動拠点「那須邸」の約五千坪の広大な山は私たちの自慢の場所です。この自然環境の中で子ども達と木を切り秘密基地を作ったり、非常食体験やおいしいものを食べたり、みんなで集まって話し合いをしたりと、子どもから大人までいろんな方が「自分のしたいこと」を楽しく見つけられる場所であればいいなと思います。

活動の中で嬉しかったことは何ですか

一番はやはり子どもたちの成長です。山で秘密基地作りをするある子どもは、はじめは木を重ね合わせたような基地から、徐々に二階建てに。次は自分で設計図を書いて持参し、スタッフに相談しながら思いを形にしようとしています。最初から助けを求めるのではなく、自分で試行錯誤しながら取り組む姿には本当に驚かされます。また、山への上り下りの際、年下の子

に手や言葉添えた援助をする子どもたちの姿を多く見かけます。「〇〇お兄ちゃんが手をつないでくれたとずっと言ってます」等、家での会話を聞くこともあり、優しい関わり合いがうれしいです。これからもみんなで子どもの成長を共有し活動にいかしていききたいものです。

今までの活動で苦労したことはありましたか

二年前、たけのご堀りを初回の活動に準備を進めていましたが、全国規模でのコロナ感染の拡大により活動停止を余儀なくされました。その間子育て中のお母さんたちの不安な声が私たちの元に届きました。それが野外活動を主とする「あんあん」の活動を見直す機会になりました。子ども達の発達・健康懸念や深刻になっている性の正しい知識、自分の体について学ぶことを目標に「性と命の健康講座」をオンラインで五回実施しました。今なお厳しい感染状況ですが、アンテナをしっかりと張り安全に進めています。

第一回目の活動は、夏休みが終わる一週間前の「川遊び」でした。ステイホームで頑張ってきた子どもたちへのプレゼントです。まるで水を得た魚そのものの子ども達…参加された保

護者からも「子どもたちが生き生きと楽しんでいて、付き添いのつもりだった自分も楽しめてよかった」と嬉しい声も頂けました。

この記事を読まれている方にメッセージをお願いします

子どもだけで安心して遊べる場所が地域になくなり、外で遊ぶ子どもの姿を見かけなくなっただけでなく、ゲーム・スマホ等室内での遊びや、塾・習い事に忙しい今の子ども達は、遊ぶ時間があまりありません。それに加えこのコロナの緊急事態です。「那須邸」を我が物顔で駆け回る子どもたち、「子どもたちのために」と苦手なことに挑戦したくましく変わっていく親御さんの姿もたくさん目にしてください

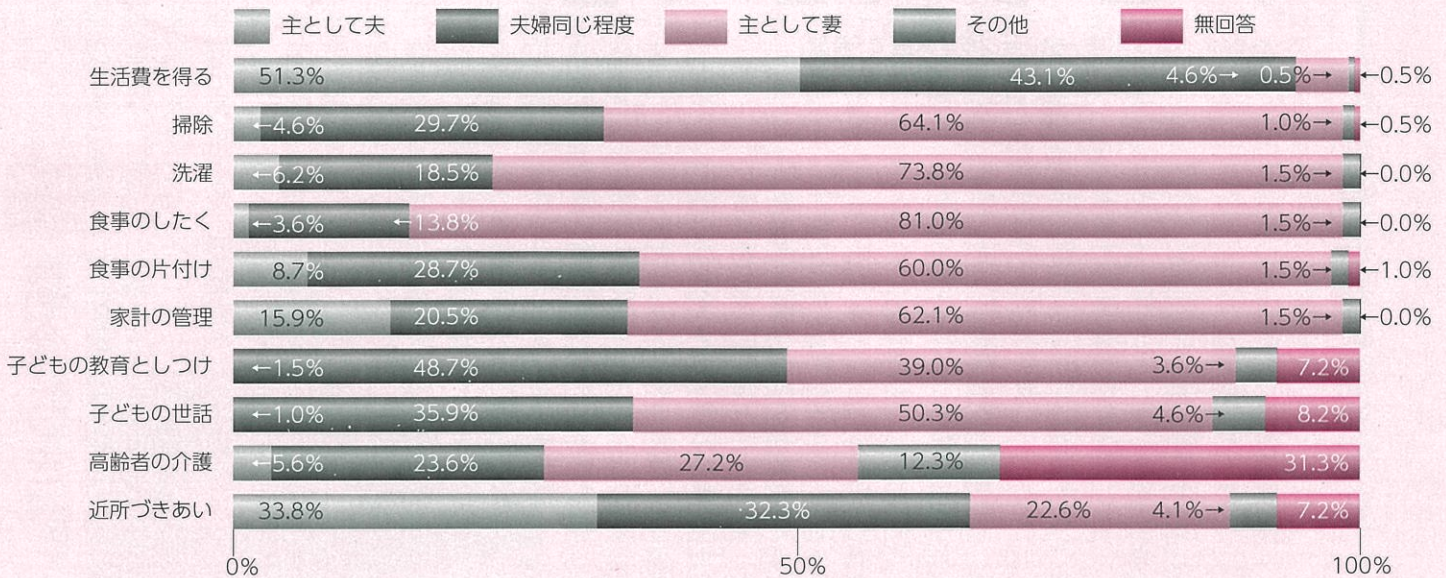
一人では不安なこともみんなが集い、体を動かし、話し合い、一緒に遊びをつくりだす中に、子育てのヒントを沢山見つけることができます。これからも子ども達の笑顔を活動の真ん中に「ともに支え合い育ち合える子育ての根っとうわく」を皆さんと一緒に広げていきたいと思っています。もしかしたら一番楽しんでるのは自分かもしれない。みなさんもぜひ、一緒にしませんか。



## 【家庭における役割の現状】

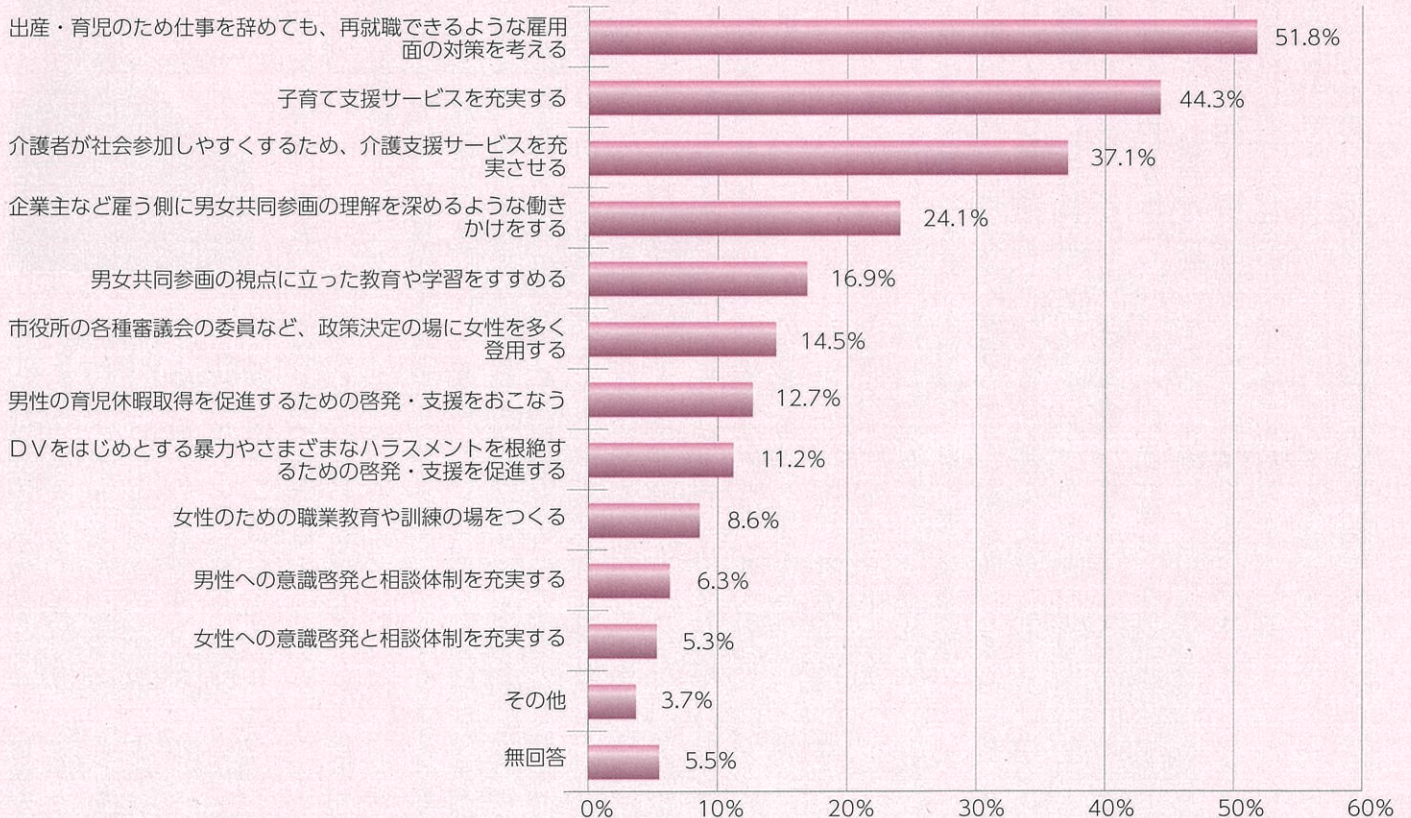
### ● 家事や子育てなど、主に夫婦どちらが担当していますか？（共働き世帯）

家事や子育てなどの家庭の責任を男性も分担するべきだと思っているのは男女ともに8割を超えていますが、実際の役割分担をみると、共働き世帯であっても、「掃除」「洗濯」「食事のしたく」「食事の片付け」「家計の管理」「子どもの世話」については、「主として妻」が5割～8割を占めています。



## 【行政の役割】

### ● 男女共同参画社会実現のために、市が力を入れるべきことは何だと思えますか？（回答は3つ以内）



アンケートではこのほかにも、結婚、子育て、社会参加、ワークライフバランス、DV、セクハラなど、様々な分野についての調査結果を集計しました。

市では、今後も男女共同参画の実現に向けた取り組みを進めていきます。そのためにも、市民一人ひとりの積極的な意識改革と課題の共有が必要ですので、ご協力をお願いします。

なお、アンケート結果については、「さん・さん」やホームページで閲覧できます。

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/index2.php?id=169>





# 市民アンケート調査結果

「男女がともにさんさんと輝けるまち津山」の実現をめざして…

市では「第4次津山男女共同参画さんさんプラン」に基づいて、男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを進めています。計画見直しの基礎資料とするため、令和3年8月に男女共同参画に対する意識調査アンケートを実施しました。その結果の一部を紹介します。

## 【調査の概要】

対象：津山市内在住の18歳以上の男女各1,005人 計2,010人

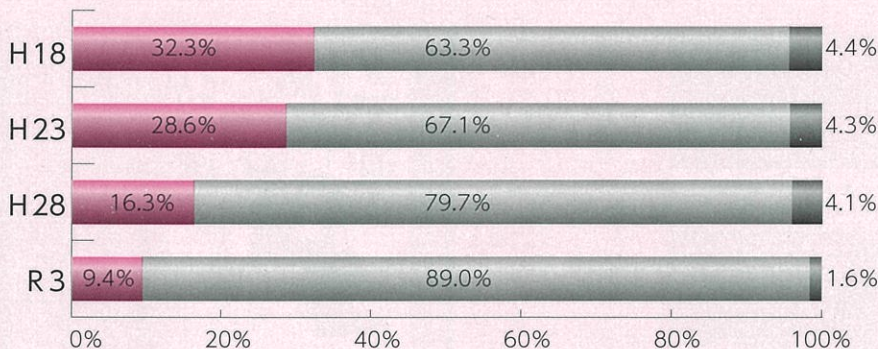
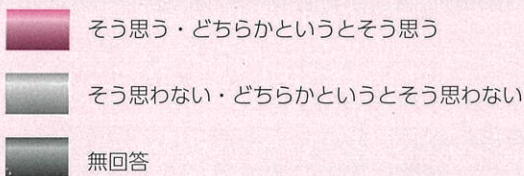
配布数：2,003（7通返戻）

有効回収数：490人（女性288人 男性190人 性別答えたくない6人 性別無回答6人）

回収率：24.5%

（端数調整の方法により、回答の割合の合計値が「100.0%」にならないことがあります。）

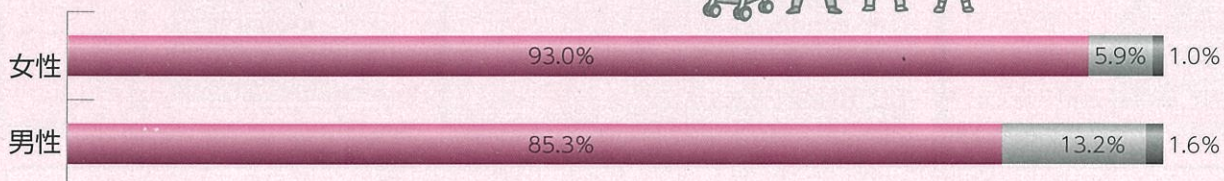
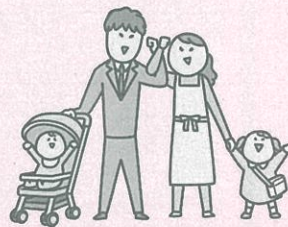
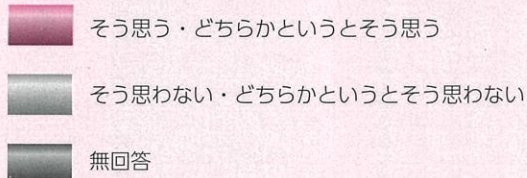
## ● 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだと思いますか？



調査を重ねるにつれて、「そう思う・どちらかというと思う」と回答した割合が低くなっています。

今回の調査では、89.0%の人が「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」と考えており、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担の考え方には反対していません。

## ● 男性も家事・子育て・介護などの責任を分担するべきだと思いますか？



「男性も家庭の責任を分担するべきだ」と思う人は、男女ともに8割を超えています。



# 登録団体紹介

「さん・さん」には団体の登録制度があります。登録されると会議室の利用料が免除されるなどの利点があります。男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいる団体などが活動する場所として、活用を検討してみたいかでしょうか。

## 津山市愛育委員連合会城北支部

どのような団体が教えてください。

津山市愛育委員連合会城北支部は、連合町内会城北支部内の愛育委員会で組織された団体で、愛育委員は栄養委員も兼務しています。

現在、愛育委員連合会全体の会員は971名、その内城北支部の会員は19名になります。

どのような活動をするかは、支部役員会で話し合いをして決定します。三世代交流ウォーキング、健康と福祉のまつり、育児相談、すこやか料理教室（高齢者向け・母子向け）、親子の食育活動、男性の料理教室、高齢者あんしん活動等・・・の行事を『津山男女共同参画センター「さん・さん」』を借りて、年間30回程度行っています。

次に、行っている活動の詳細について、ご紹介させていただきます。市民の健康や食生活の課題について考えたり、高齢者の料理教室では、低栄養・フレイル予防に配慮した食事の提供等を行ったりしています。また「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」、「北淡路震災記念公園」等で行われる研修に参加したり、イベントでの食育PRコーナー等を設置したりしています。

年に何回か実施する反省会では、活動についての反省点や、良かった点の話し合いをしています。



(写真：育児相談の活動風景)

## 新着図書紹介

男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDを取り揃え、皆さんにお貸ししています。図書は1カ月以内で何冊でも、ビデオ・DVDは2週間以内で2本まで貸出できます。



**マンガでわかる  
LGBTQ+**  
パレットーク／著  
2021年  
(講談社)

**「アンコンシャス・バイアス」マネジメント**  
最高のリーダーは自分を信じない  
守屋智敬／著  
2019年  
(かんき出版)

**外科医のママ道!**  
さーたり／著 (KADOKAWA)  
2020年

**主婦をサラリーマンにたとえたら  
想像以上にヤバくなった件**  
河内瞬／著  
2019年  
(主婦の友社)

**夫婦のミツが埋まらない**  
産後にすれ違う男女を  
変えるパートナーシップ学  
渡辺大地／著 (KADOKAWA)  
2019年

**暴力を受けていい人は  
ひとりもない**  
阿部真紀／著  
2018年  
(高文研)